

# 一般質問

第三回（十一月）定例会では、十四人の議員が市政について質問しました。

議員名	主な質問項目	掲載頁
渡邊 博夫	子どもの貧困と居場所づくり、高齢者の消費者安全性確保	4
小澤 隆	市民文化センターの利便性向上	4
井原三千雄	環境保全、廃棄物処理の取組	5
佐野 博一	ニュースポーツの推進、スポーツを活用した健康長寿	5
片岡 草一	带状疱疹ワクチン接種、ヤングケアラー等支援、浄化槽の活用	5
尾藤 正弘	改正障害者差別解消法における合理的配慮の提供	5
堤 飛鳥	防災情報システム、市内同報無線、買物弱者対応	6
大草 満	安全・安心なまちづくり、豪雨被害への対応	6
深田 昇	放課後児童クラブの充実、高齢者福祉の増進	6
渡部一二実	危機情報把握の高度化、水道DX導入による業務効率化	6
川口 慶	子育て支援と雇用の安定	7
山下富美子	公有財産の適正管理、津波浸水想定区域、地籍調査の進捗率	7
江本 浩二	被災住宅の被害認定、被災者生活再建支援、水害対策	7
平野 謙	放課後児童クラブ	7

※議員名下のQRを読み取ると、各議員の一般質問の録画映像が視聴できます。

※文面中の波線（~~~~）については、P.8の用語解説を御覧ください。

全ての質問項目（通告一覧）はこちら



## 市民文化センターの利便性向上に取り組む考えは

**問** 沼津市民文化センターの利便性向上に向けた取組として、①電子申請による予約受付を行う考えは。②利用料金のキャッシュレス決済を導入する考えは。③無線LANを導入する考えは。

**答** 教育次長／①現在、仮予約については沼津市公共施設予約システムによる予約を受け付けているが、本予約における電子申請の導入については、市民のニーズや各業務の効率化を考慮し検討していく。②現在、市民文化センターの利用料金は、原則として銀行窓口での納付書払いと

しており、例外として口座振替による納付も受け付けている。今後は、キャッシュレス決済の導入に係る課題を整理した上で検討していく。③無線LANの導入により、ウェブ会議などインターネットを活用した会議や催事が可能となり、利用者の利便性向上につながると認識している。しかしながら、施設の構造やセキュリティ、通信障害など技術的な課題も想定されることから、利用者のニーズを踏まえた上で、施設改修などの機会を捉え、具体的な対応策を検討していく。

小澤 隆



## 全国学力・学習状況調査を受け学力向上に向けた取組は

**問** 令和五年度全国学力・学習状況調査について、①調査結果に対する認識は。②学力向上に向けた取組は。

**答** 教育長／①本市の傾向として、小学校で課題であったことが、中学校では成果として表れていることが挙げられる。これは本市で全学的に進めている小中一貫教育において九年間の連続した学びを意識して丁寧な指導してきた成果だと認識している。今後も、小中学校の学びの系統性を意識した授業を実践するとともに、小学校における課題を重点的に取り上げ、様々な場面で活用できる

力を育むことができるよう教科等横断的に取り組んでいく。②本市では検証改善委員会を開催し、調査結果の分析・対策をまとめた報告書等を作成している。教職員に対しては、これらを授業改善に役立てるよう働きかけているほか、保護者に対しては、リーフレットや分析資料等を配付し、学校と家庭が連携しながら子供たちを育んでいけるよう働きかけている。今後も全国学力・学習状況調査の結果を有効に活用し、授業や教育活動の改善につなげ、学力向上を目指していく。

渡邊 博夫

